

新生野中学校スクールカウンセラー 大和 誠一

霜月となり、朝夕ようやく寒さがしむころになりました。紅葉の美しさを見て感動するとともに、散りゆく落ち葉に晩秋の物悲しさを感じることもあります。

物事には表裏がある、ということで、1つのことでも見方を変えたら「もうひとつの物語」があるのではないか、というのをテーマにした話をしたいと思います。

イソップ童話に「オオカミと少年」というのがあります。『村はずれに一人で住んでいるひつじ飼いの少年が退屈紛れに「オオカミが来た!」とウソを言い、それに大慌てする大人たちの姿が面白くてウソを何度も繰り返します。しかし、本当に来たときには誰も本気にしなかったので、少年（または羊）は、オオカミに食べられてしまいました。』

この話は、「ウソをつく子は、やがて人から信じられなくなり、身を滅ぼすものだ」という教えを含んでいるようです。そのため、道徳の教材にも使われてきました。

一方、この童話の「もうひとつの物語」として考えられるのは、『村はずれに、一人ぼっちで住む少年を放置し、その寂しさから出た「ウソをつく行動」を理解しようともせず、ウソをつく子には天罰が下るとばかりに、あざ笑う大人社会の冷酷さを訴えている』というものです。

周りを困らせるウソをつくことは、悪いことだけれど、ウソをつかなければならなかった背景が必ずあるはずです。ウソをとがめる前に、それを理解しようと努めるのが大人の役目でしょう。

子どもに寄り添った接し方と言うのは、「もうひとつの物語」を考えてみることから始まるのかもしれないですね。



カウンセリングの案内

日にち: 毎週金曜日 11月 6, 13, 20, 27日, 12月 4, 11, 18日

時間: 午前10時～午後4時45分

場所: カウンセリングルーム(西館3階)

申し込み: 事前に教頭先生か担任の先生まで申し込んでください。

TEL 6757-1421

生徒のみなさんへ

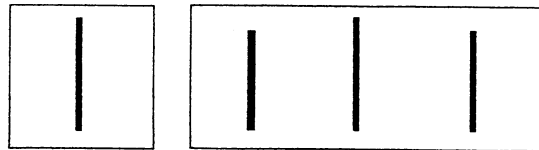
新しい学年も、半分が過ぎ去りましたが、いかがですか？

さて問題、

右側の表の中で、

左の線の長さと同じ長さのものは、

A,B,C のどれですか？



A B C

これは社会心理学者のアッシュが行った有名な同調圧力実験です。みなさんは、どれが同じだ
と思いますか？

え？これってひっかけ？と疑わなくても大丈夫。もちろん「B」と長さが同じです。

アッシュは、このように普通に考えればすぐにわかる問題なのに、周りにいる人の反応によって
自分の考えや判断が左右されてしまうのではないか、という実験をしました。

まず、実験者を一人。そして、その周りに実験者のふりをしたサクラを数人並べます。実験者は
最後のほうに答えさせるようにします。一人目のサクラは誰でも間違いだとわかる「A」を言います。
その次のサクラも「A」そのまた次も…、とサクラの答えをすべて一致させ、最後に実験者に聞くと、
なんと実験者は迷いつつも「A」と答えるのです。正答率は 63%しかありません。同じような問題
18 問すべてに正解した人は 25%だけでした。

ところが、サクラの中に一人だけ正しい答えをする人を入れる
と正答率が 91%に、はねあがったのです。

このことから、人は自分の考えや判断を周りの人に合わせよう
としていることが分かります。しかし、一人でも自分と同じ考えを
持つ人がいる場合は、自分の考えや判断を大切にします。



個性を重んじたアメリカの大学生ですらこの結果ですから、日本のように集団を重んじる国だと
もっと周りに左右された結果が出たことでしょう。

このことは、日常生活でも見られることはありませんか。

友達がいたので、難しいことにもチャレンジできた、といういい影響を受ける場合もあります。逆
に、友達から言われて、特定の子を無視したという例もあります。集団の圧力は予想以上に強く、
時として自分の良心や個性に反した行動をとらされることがあります。そんなときは、自分だけで
頑張るのではなく、仲間を探すことです。また、支援してくれる人に相談することです。

困ったことや心理に興味のある人は、一度カウンセリングを利用してみて下さい。